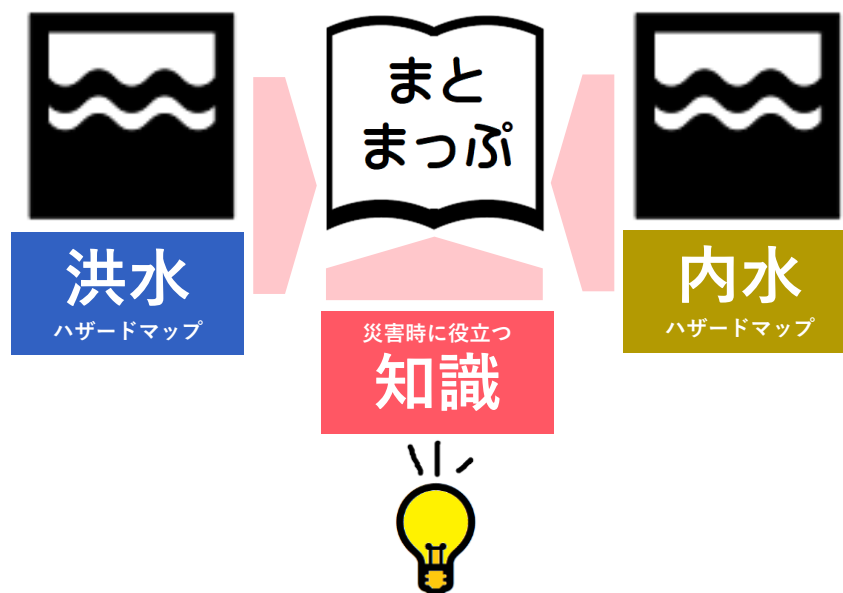


「旭川市防災これ一冊 まとまっぷ」(仮称)の 作成に関するアンケート調査結果報告書



令和7年9月
旭川市防災安全部防災課



目 次

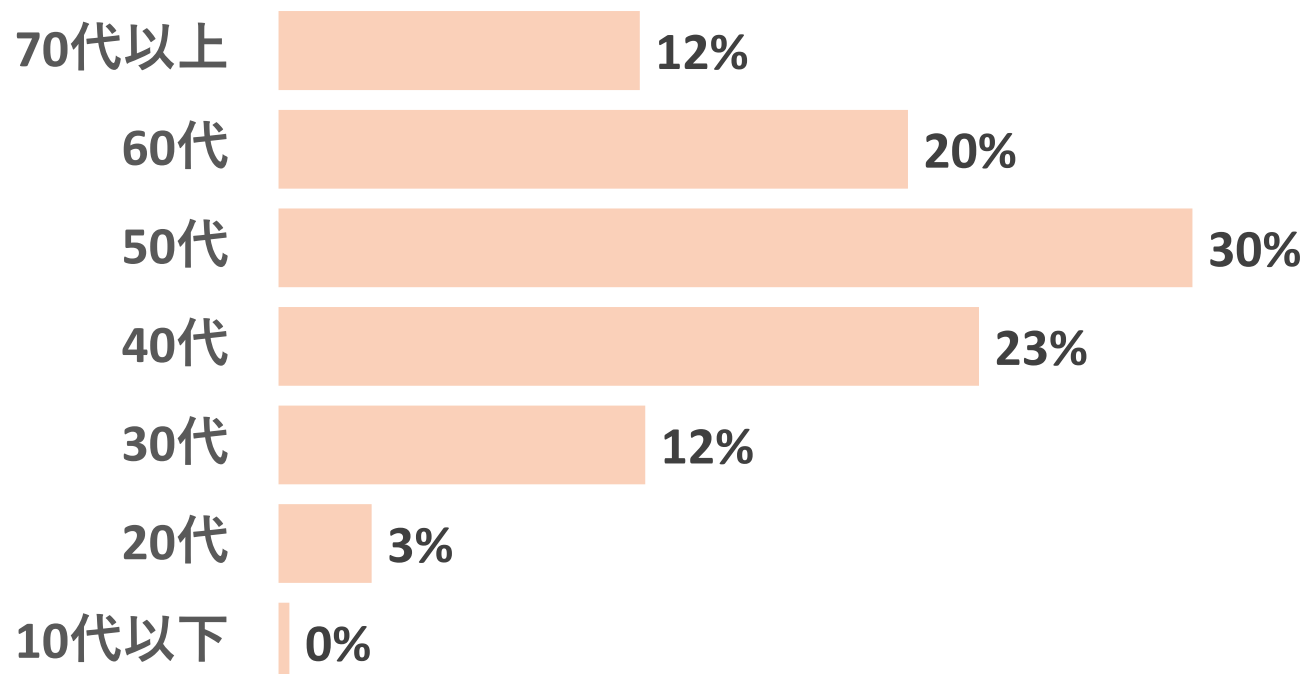
内容		ページ
アンケート調査の概要		1
アンケート 調査結果	Q 1. 年代	2
	Q 2. 色覚で不自由を感じることの有無	3
	Q 3. 現在の洪水ハザードマップの認知度	4
	Q 4. 現在の洪水ハザードマップの認知方法	5
	Q 5. 地図の見やすさ	6
	Q 6. 地図が見つらいと感じた理由	7
	Q 7. 見やすいと感じる配色サンプル（全体で集計）	8
	Q 7. 見やすいと感じる配色サンプル（色覚で不自由を感じることもある方で集計）	9
	Q 8. 新しいハザードマップで特に知りたいと思う情報	10
	Q 9. 新しいハザードマップに対する期待・ご意見等	11
アンケート結果を踏まえた今後の作成方針		12
資料編	アンケート質問項目	14～15
	各質問項目の回答数の詳細	16
	回答一覧表（Q 6. 地図が見つらいと感じた理由）	17～20
	回答一覧表（Q 9. 新しいハザードマップに対する期待・ご意見等）	21～29

アンケート調査の概要

●調査の名称	「旭川市防災これ一冊 まとまっぷ」(仮称)の作成に関するアンケート調査
●目的	本市では新たな洪水ハザードマップと災害時に役立つ情報等をまとめた冊子「旭川市防災これ一冊 まとまっぷ」(仮称)の作成を進めており、配色を含め、見やすい、わかりやすい冊子を作成するため、アンケート調査を実施しました。
●調査対象	市内に住所を有する者、市内に通勤し、又は通学する者及び市内において事業を営み、又は活動を行う個人又は法人その他の団体
●調査期間	令和7年8月1日(金)から8月29日(金)まで
●回答方法	インターネットによる専用フォーム・郵送・FAX等
●回答件数	565件

Q 1

あなたの年代を教えてください。



50代が30%と一番多いですが、10代から70代以上まで幅広くご回答いただきました。

※集計に当たり、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります（Q2以降において同じ）。

Q2

あなたは普段、色覚で不自由を感じることはありませんか？



普段、色覚で不自由を感じることもある方から
23件（4%）の回答をいただきました。

Q 3

現在の「旭川市洪水ハザードマップ」を
ご覧になったことはありますか？

ある



74%

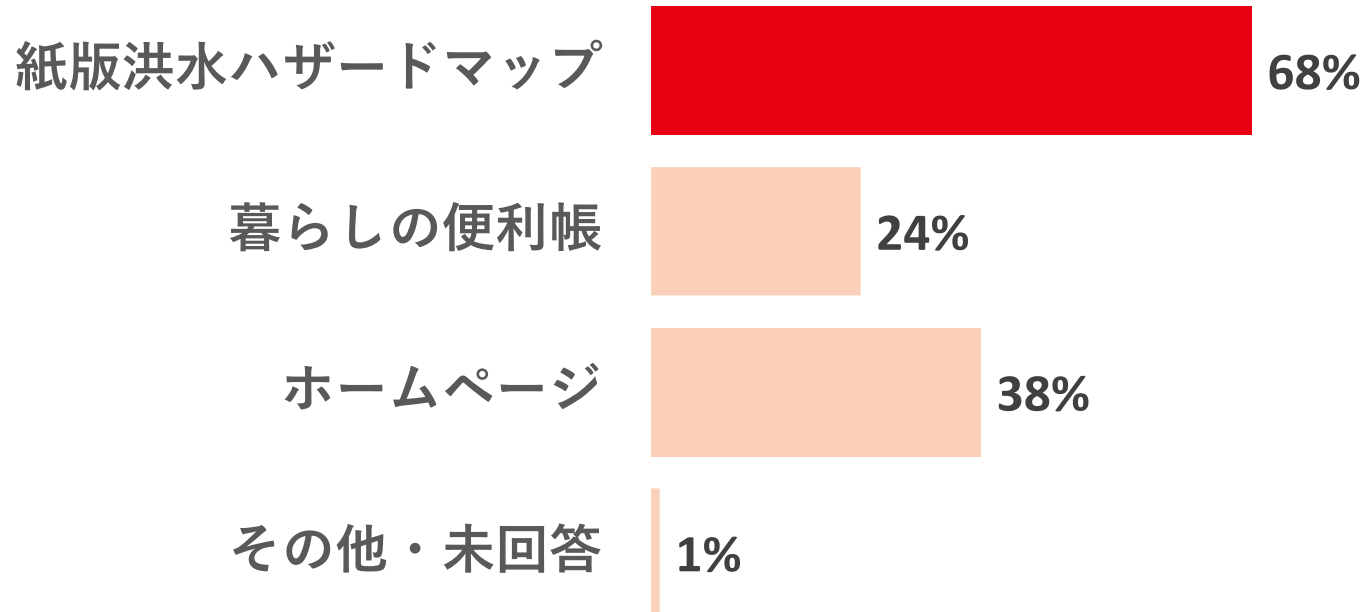
ない

26%

現在の洪水ハザードマップを
全体の74%が、見たことがあると回答しました。

Q 4

※ Q 3 で見たことが「ある」と回答した方のみ
どのような方法で見ましたか？

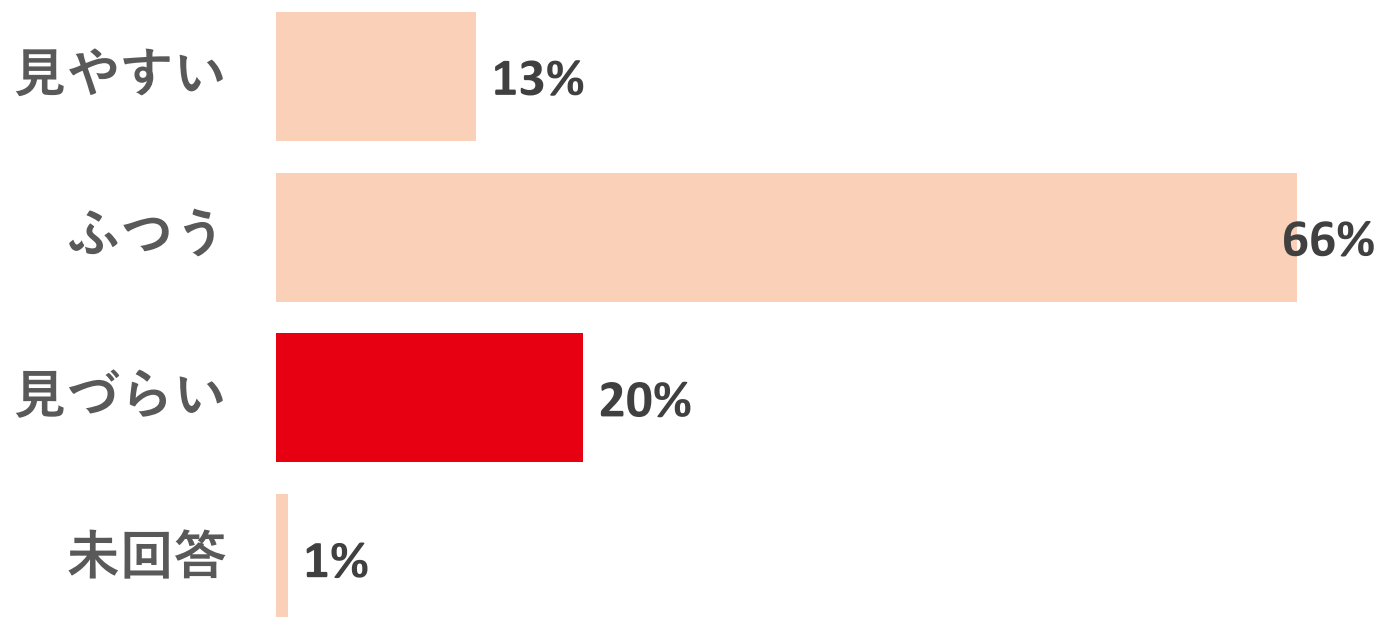


※合計が100%を超えているのは複数回答可としていることによるものです。

洪水ハザードマップを見た方法としては
68%が紙版の洪水ハザードマップと回答しました。

Q 5

※ Q 3 で見たことが「ある」と回答した方のみ
地図の見やすさについてどう思いましたか？



66%が「ふつう」と回答しましたが、「見づらい」との回答が「見やすい」を上回りました。

Q 6

※Q 5で「見づらい」と回答した方のみ
なぜそのように感じましたか？（自由記載）

理由	件数	主な回答
配色に関すること	48	色の違いが分かりづらい。区分の境い目が分かりにくい。
縮尺に関すること	11	地図が小さい。細かくて分かりづらい。
場所の特定に関すること	10	目的の場所が探しにくい。 ランドマーク的な建物や公園等を示してほしい。
文字の大きさ	8	字が小さい。
地域分けに関すること	7	自分の見たい地域を探すのに時間がかかる。
ホームページの画質に関すること	4	解像度が荒いし拡大すると見にくい。
情報量に関すること	3	色々な情報がありすぎて分かりづらい。
その他	3	見た時に分かりづらさがあった。

「見づらい」と感じた理由は、
配色に関することが最も多い回答でした。

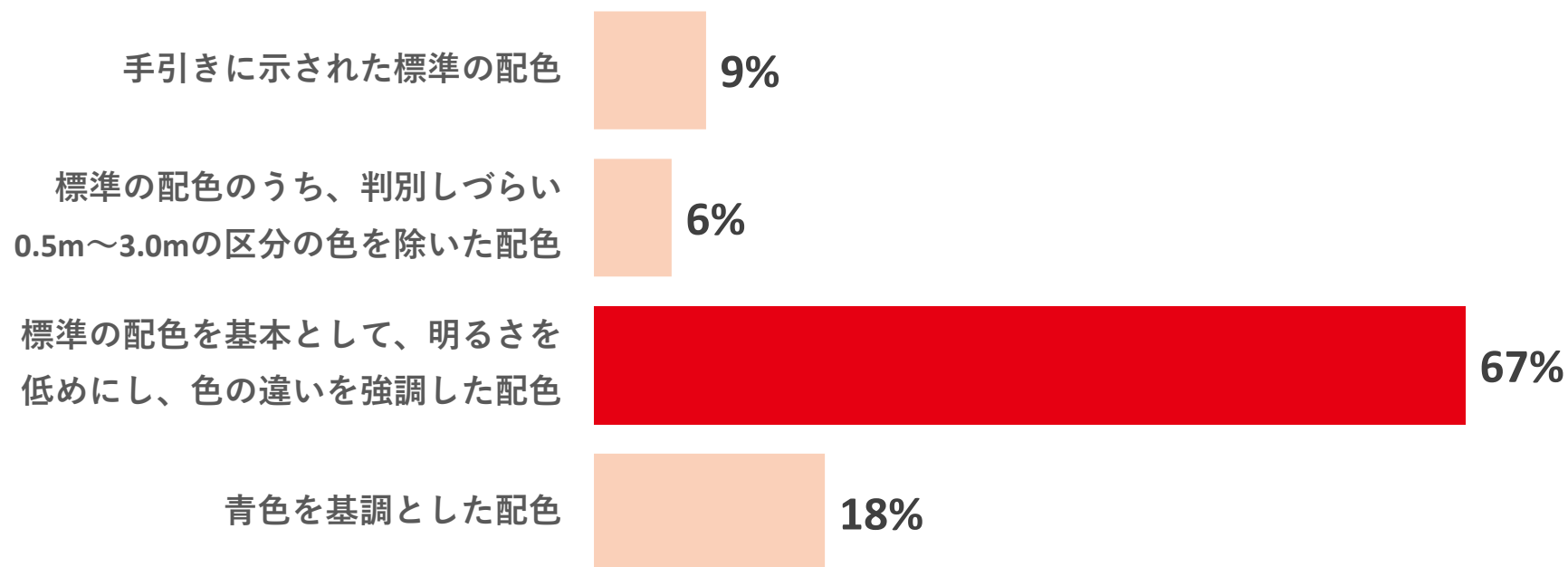
※理由の全件は資料編に記載しています。

Q 7

※全体

※全体で集計

4つの配色のサンプルから一番見やすいと感じるものをお選びください。

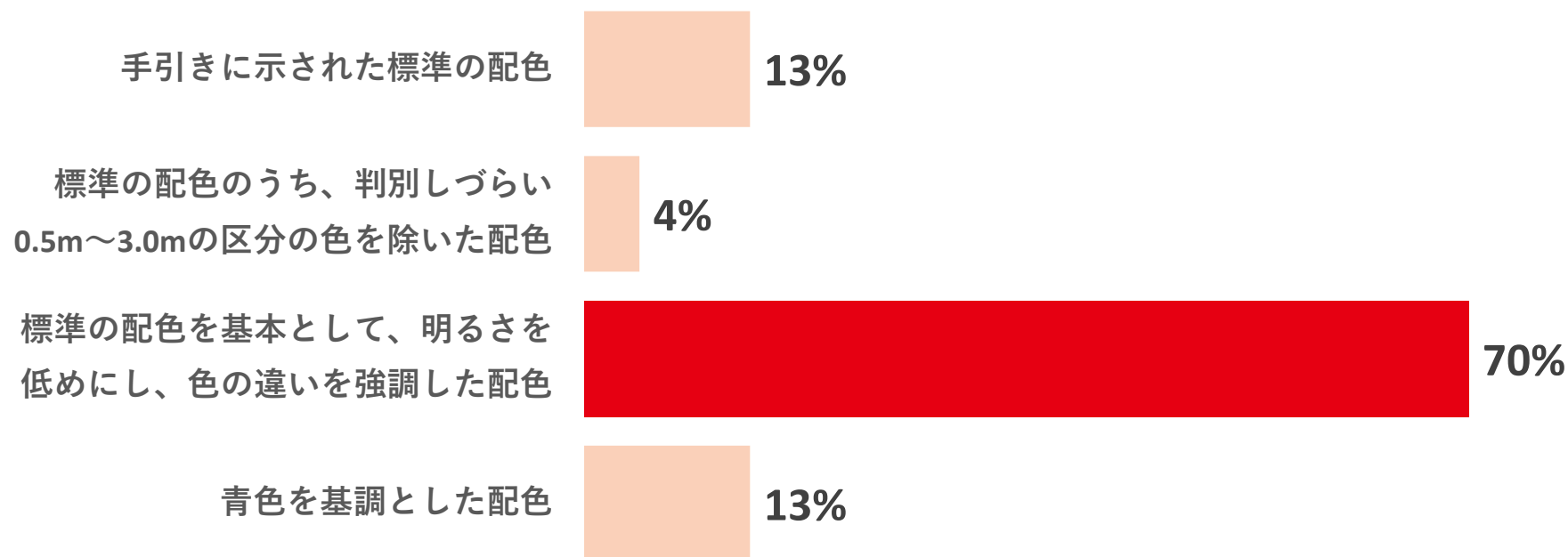


全体の67%が
明るさを低めにし、色の違いを強調した配色と回答
しました。

Q 7

※クロス集計

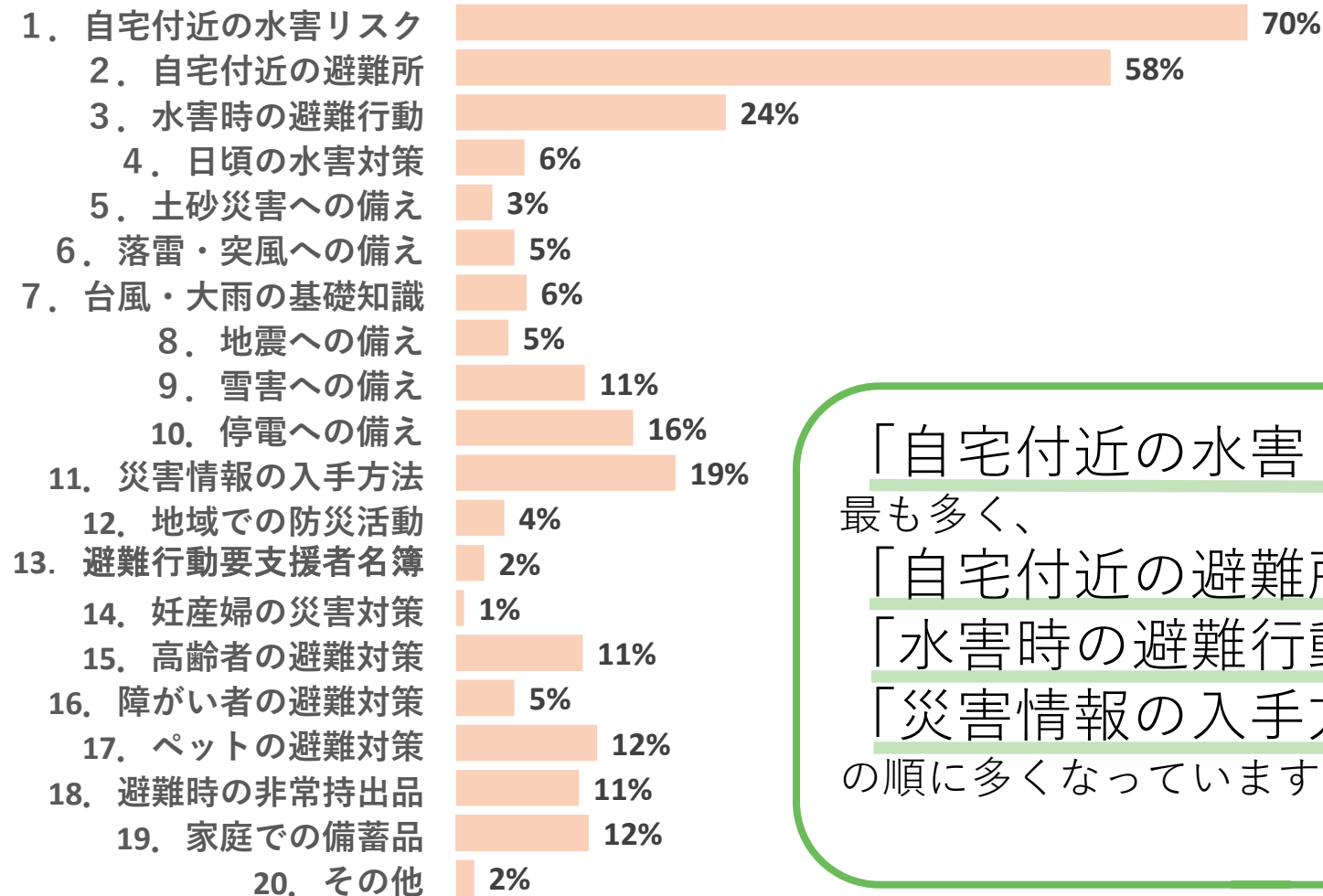
※Q 2 で色覚で不自由を感じることもあると答えた方のみで集計
4つの配色のサンプルから一番見やすいと感じるものをお選びください。



Q 2 で色覚で不自由を感じることもあると答えた方も
70%が明るさを低めにし、色の違いを強調した配色と回答しました。

Q 8

新しいハザードマップにおいて、特に知りたいと思う情報を教えてください。



「自宅付近の水害リスク」が最も多く、
「自宅付近の避難所」、
「水害時の避難行動」、
「災害情報の入手方法」
の順に多くなっています。

※合計が100%を超えているのは複数回答可としていることによるものです。

Q9

新しいハザードマップに対して期待すること、
ご意見等があれば記載してください。（自由記載）

期待すること・意見等	件数	主な回答（要約）
見やすさ・わかりやすさ	52	・子供から高齢の方まで誰が見ても分かりやすい文字や文章、絵図であれば良いと思います。・大きな文字、見やすい色使いで作って欲しい。
盛り込む内容について	42	・避難を呼び掛ける自治体からの連絡がどのように来るのか、いつ避難すれば良いのかを分かりやすく説明して欲しい。・自宅近くの避難所、高齢者、障害者、ペットの避難対策、避難時の非常持ち出し品のチェックリスト、家庭での備蓄品のチェックリストなどを載せていただけるとありがたい。
周知媒体・周知方法について	30	・災害時はネットなど繋がらない事が予想されるので、サイト以外にもやはり紙媒体で配布して欲しい。・インターネット上で見れるGISマップがあれば便利。・紙でもデータでも見られるようにしてほしい。
作成後の効果・活用について	11	・新しいハザードマップを作成するのは良いことだと思いますが、それを確実に周知するとともに、避難訓練を実施しなければなりません。・市民が防災をジブンゴトにできるような冊子を期待しています。
ハザードマップ以外の災害対策	11	・浸水する場所に避難所を設定しないでほしい。・ペットとの同行避難所で、屋内でも一緒に避難出来る場所を作って欲しい。・水害に限らず避難時の移動手段がなく、公共交通も頼れない状況だと避難が難しい。
冊子の構成について	3	・「防災ガイド」と「ハザードマップ（地図）」を別々に作成してはどうか。
作成時期について	3	・早めに紙で発行配布、早めに出来ないなら電子情報でお願いします。
その他	5	・情報に誤りが無いように製作して下さい。

「見やすさ」「わかりやすさ」についての意見等が最も多くなりました。

アンケート結果を踏まえた今後の作成方針



今後の作成方針	アンケートを踏まえた考え方
●地図面のページ数の確保	当初予算策定時においては40ページ程度の冊子としていましたが、現在48ページに拡張する予定で作成を進めており、地図面をより多く確保し、見やすく、わかりやすいものとなるよう配慮してまいります。
●配色の変更	現在の配色は「見づらい」という意見が多かったことから、Q7の配色サンプルのうち、全体、色覚で不自由を感じる方ともに、一番見やすいと回答のあった「明るさを低めにし、色の違いを強調した配色」を基本に作成を進めてまいります。 ※水害ハザードマップ作成の手引き（国土交通省）において、住民意見を反映した上で標準の配色に類する配色等を用いることを妨げないものとされております。
●様々な媒体での周知	冊子での全戸配付に加えて、ホームページでPDF版を公開するほか、新しく導入予定の公開型GIS（位置情報をもつ行政情報や地図データを公開するシステム）により調べたい場所を自由に検索したり拡大・縮小して確認できるようにしてまいります。
●盛り込む内容の調整	Q8の「特に知りたいと思う情報」の回答割合やQ9の期待すること、ご意見等の内容を踏まえて、盛り込む情報の内容やページ配分を調整してまいります。 また、公開型GISの活用や旭川市避難マニュアル（市民用）（本市の災害リスクと避難に関する予備知識、災害への備えを詳細にまとめたもの）等を活用して様々な災害対策に係る情報を提供してまいりたいと考えております。
●作成時期	令和8年3月に全戸配付を予定しておりますが、中小河川による水害リスクをできるだけ早く周知する観点から、令和7年10月発行予定の「旭川市くらしの便利帳2025年版」においても、一部の区域の新しい洪水ハザードマップを掲載する予定です。
●正式名称の決定	冊子の名称は、アンケートにおいて特段の意見がなかったことから、（仮称）をとり、「旭川市防災これ一冊 まとまっぷ」を正式名称とすることにします。
●その他	冊子の作成以外の災害対策に係るご意見は今後の業務の参考とさせていただきます。

資料編

アンケート質問項目①

Q 1. あなたの年代を教えてください。（○はひとつ）

1. 10代以下 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代
6. 60代 7. 70代以上

Q 2. あなたは普段、色覚で不自由を感じることがありますか？（○はひとつ）

1. ある 2. ない

Q 3. 現在の「旭川市洪水ハザードマップ」（平成31年3月改定）をご覧になったことはありますか？（○はひとつ）

1. ある 2. ない

Q 4. Q 3 で見たことが「ある」と回答した方にお尋ねします。どのような方法で見ましたか。（○はいくつでも）

1. （紙の）旭川市洪水ハザードマップ
2. （冊子の）旭川市暮らしの便利帳
3. 1 や 2 のホームページ版 4. その他（ ）

Q 5. Q 3 で見たことが「ある」と回答した方にお尋ねします。地図の見やすさについてどう思いましたか。（○はひとつ）

1. 見やすい 2. ふつう 3. 見づらい

Q 6. Q 5 で「見づらい」と回答した方にお尋ねします。なぜそのように感じましたか。（自由に記載してください）

アンケート質問項目②

Q 7. 現在の洪水ハザードマップは想定される浸水深（※1）を段階別に色分けし、水害ハザードマップ作成の手引き（国土交通省）に示された標準の配色（※2）としていますが、見づらいという意見も寄せられています。次の4つの配色のサンプルから一番見やすいと感じるものをお選びください。（○はひとつ）

※1：浸水が発生した際の水面から地面までの深さ

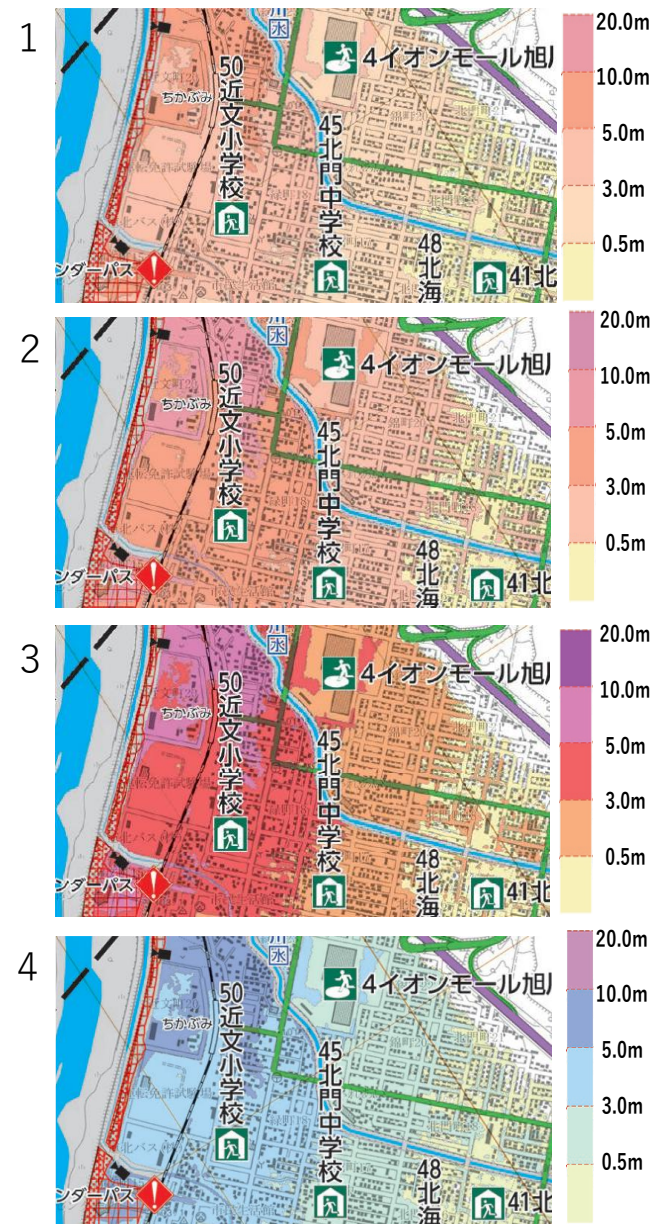
※2：色覚障がいのある方に配慮した上で浸水深の深さに応じて危険度の高い配色（黄→赤→紫）としたもの）

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|
| 1 水害ハザードマップ作成の手引きに示された標準の配色（現行と同じ） | 2 標準の配色のうち、判別しづらい0.5m～3.0mの区分の色を除いた配色 |
| 3 標準の配色を基本として、明るさを低めにし、色の違いを強調した配色 | 4 青色を基調とした配色 |

Q 8. 新しいハザードマップにおいて、特に知りたいと思う情報を教えてください。（○は3つまで）

- | | | |
|---------------|----------------|---------------|
| 1. 自宅付近の水害リスク | 8. 地震への備え | 15. 高齢者の避難対策 |
| 2. 自宅付近の避難所 | 9. 雪害への備え | 16. 障がい者の避難対策 |
| 3. 水害時の避難行動 | 10. 停電への備え | 17. ペットの避難対策 |
| 4. 日頃の水害対策 | 11. 災害情報の入手方法 | 18. 避難時の非常持出品 |
| 5. 土砂災害への備え | 12. 地域での防災活動 | 19. 家庭での備蓄品 |
| 6. 落雷・突風への備え | 13. 避難行動要支援者名簿 | 20. その他 |
| 7. 台風・大雨の基礎知識 | 14. 妊産婦の災害対策 | () |

Q 9. 新しいハザードマップに対して期待すること、ご意見等があれば記載してください。（自由に記載してください）



各質問項目の回答数の詳細

Q 1. 年代

回答	人数	構成比
10代以下	2	0.35%
20代	17	3.01%
30代	67	11.86%
40代	129	22.83%
50代	168	29.73%
60代	116	20.53%
70代以上	66	11.68%
総回答数	565	—

Q 2. 色覚で不自由を感じるものの有無

回答	人数	構成比
ある	23	4.07%
ない	542	95.93%
総回答数	565	—

Q 3. 現在の洪水ハザードマップの認知度
(見た経験の有無)

回答	人数	構成比
ある	416	73.63%
ない	149	26.37%
総回答数	565	—

Q 4. 現在の洪水ハザードマップの認知方法

※Q 3 で見たことが「ある」と回答した方のみ

回答	人数	構成比
紙版洪水ハザードマップ	284	68.27%
暮らしの便利帳	99	23.80%
ホームページ	156	37.50%
その他・未回答	4	0.96%
Q 3 で「ある」と回答	416	—

※合計が100%を超えているのは、

複数回答可としていることによるものです。

Q 7. 見やすいと感じる配色サンプル

※全体で集計

回答	人数	構成比
手引きに示された標準の配色	49	8.67%
標準の配色のうち、判別しづらい0.5m～3.0mの区分の色を除いた配色	34	6.02%
標準の配色を基本として、明るさを低めにし、色の違いを強調した配色	381	67.43%
青色を基調とした配色	101	17.88%
総回答数	565	—

Q 7. 見やすいと感じる配色サンプル

※色覚で不自由を感じる方のみで集計

回答	人数	構成比
手引きに示された標準の配色	3	13.04%
標準の配色のうち、判別しづらい0.5m～3.0mの区分の色を除いた配色	1	4.35%
標準の配色を基本として、明るさを低めにし、色の違いを強調した配色	16	69.57%
青色を基調とした配色	3	13.04%
総回答数	23	—

Q 5. 地図の見やすさ

※Q 3 で見たことが「ある」と回答した方のみ

回答	人数	構成比
見やすい	54	12.98%
ふつう	276	66.35%
見づらい	83	19.95%
未回答	3	0.72%
Q 3 で「ある」と回答	416	—

Q 8. 新しいハザードマップで特に知りたいと思う情報

方法	人数	構成比
1. 自宅付近の水害リスク	393	69.56%
2. 自宅付近の避難所	325	57.52%
3. 水害時の避難行動	134	23.72%
4. 日頃の水害対策	34	6.02%
5. 土砂災害への備え	18	3.19%
6. 落雷・突風への備え	29	5.13%
7. 台風・大雨の基礎知識	35	6.19%
8. 地震への備え	26	4.60%
9. 雪害への備え	64	11.33%
10. 停電への備え	88	15.58%
11. 災害情報の入手方法	109	19.29%
12. 地域での防災活動	24	4.25%
13. 避難行動要支援者名簿	14	2.48%
14. 妊産婦の災害対策	4	0.71%
15. 高齢者の避難対策	63	11.15%
16. 障がい者の避難対策	29	5.13%
17. ペットの避難対策	70	12.39%
18. 避難時の非常持出品	61	10.80%
19. 家庭での備蓄品	66	11.68%
20. その他	9	1.59%
総回答数	565	—

※合計が100%を超えているのは、

複数回答可としていることによるものです。

回答一覧表（Q 6．地図が見つらいと感じた理由）

●配色に関すること

①

番号	見つらいと感じた理由	備考
1	桃色は安心色のイメージ 黄色系は注意のイメージ 色の持つイメージと危険度のギャップで緊急時に瞬時に判断はしずらいと思う	
2	色がわかりにくい。ホームページに載せるだけなど、わざわざ紙に印刷して配布しなくていいのでもっと狭い範囲のが知りたい（拡大・縮小を簡単にできるようにしてほしい）。	「縮尺に関すること」の件数にも算入
3	浸水の色分けがわかりづらい。	
4	配色表と見比べないとわからない。同じ紙にあっても少し離れるだけで色を確認することが難しいです。	
5	色分けが見つらいのと、範囲が広すぎる気がする	「縮尺に関すること」の件数にも算入
6	色の濃淡がはっきりしない。色の違いが分かりづらい。	
7	色が似ていて、調べたい地域が何色なのかよくわからなかった。	
8	色の濃度の差がわかりにくい	
9	想定水位が地図に色付けされていますが、それぞれ色が近くて何m想定 of 地域なのか解りにくい、色が近くて見分け難いから	
10	色が曖昧 ハッキリと識別できたら良い	
11	似たような色 細かすぎる 住所ごとより旭川市全体の地図で見たい	「区域分けに関すること」の件数にも算入
12	色が少しわかりにくいのと、住所が見つらい	「文字の大きさに関すること」の件数にも算入
13	色の色調が似ているため	
14	配色が分かりにくい	
15	色味が薄くわかりにくい	
16	色合いの区別ははっきり見やすくしてほしい	
17	色がはっきりしない。水のイメージは青というのかもしれない。	
18	水害なのに、赤を基調としていてわかりづらかった	
19	微妙に色が分かりづらい	
20	オレンジ色、赤の部分の区別がよくわからない	
21	境界がはっきりしなくて見つらいと思った	
22	境界線などが分かりづらい	
23	色の濃淡がはっきりせず、エリアの区別がつかないので、わかりにくいと思いました。高齢者なら、おそらくエリアの区別がつかないのではないかと思います。	
24	色分けがわかりにくい。河川も含めて着色しないと、ぱっと見でどこが浸水するのかわかると思う。着色ないと誤って河川内に避難する人いるのでは？(常識的にはいないと思うが)	
25	色分けの判別ができないところがある。	
26	色の変化が、微妙なところ	
27	浸水の色分けがわかりづらい。	
28	色合が見つらい	
29	・土砂災害の色と、浸水深が似たような色でわかりにくい。 ・浸水深だけを見ても、全てピンクに近い色に見えて非常に見分けがつきにくい。	

回答一覧表（Q 6．地図が見づらいと感じた理由）

●配色に関すること

②

番号	見づらいと感じた理由	備考
30	色が似ていてみづらい部分がある。	
31	区分の境い目が分かりにくい	
32	色の濃淡が分かりにくい	
33	自分の住んでる場所がどれぐらいのレベルかわかりずらかった。地図が見ずらかったかな	
34	色使いが見づらい印象　ゴチャゴチャしている	
35	色覚異常では全く無いが、洪水マップでの色の使い方が、とにかく見にくい。同色系のパステル色はどうなのだろうか。パステル色を使うのであれば、違った色味でお願いしたいものだ。本当は、原色が見やすい。	
36	家屋倒壊等氾濫想定区域を示す赤のチェックやドットの重なったエリアにおいて、下地にある浸水深の色が（どちらも赤系統の色のため）判別しづらい。	
37	色の判別がしづらい。あと市内が地域ごとに細かく分かれてるので全体版も欲しい	
38	0.5m以上～3.0m未満の色がぼやけて見えづらい。	
39	色分けが近しい色なので見づらい	
40	下位の浸水深について、媒体により判別がしづらい場合がある	
41	下2つの色の見分けが難しいところがあった。	

●縮尺に関すること

番号	見づらいと感じた理由	備考
42	細かくて分かりづらい。	
43	細かい、小さい　場所が分かりづらい	「目標物の特定に関すること」の件数にも算入
44	細かい	
45	地図が小さい。色が分かりづらい。	「配色」の件数にも算入
46	家の近辺を拡大してしりたい	
47	旭川全市版なので、居住地域が小さいため高齢者には見づらいと感じた。地域版があると探しやすく、ジブンゴトになると感じている。	
48	小さい	
49	・地図の大きさ（縮尺？）が小さくて詳細が分かりくい。 ・小さいため、市のホームページに拡大したハザードマップがあるとあったので見にいったが「ぼやけて」地図がはっきりしない。 ・避難所と避難場所の記号と文字の下の浸水状況がわからない。 ・ホームページのトップに無くスクロールしなくてはならない。	「画質に関すること」の件数にも算入

●目標物の特定に関すること

番号	見づらいと感じた理由	備考
50	自宅など知りたい場所を探すのに苦労した記憶があります。	
51	自宅を探しづらかったから	
52	旭川全域を理解していないと把握が難しい出来栄えだと感じた。これは、一定以上の土地鑑がなければ、判断が難しい場合もある。災害時＝自宅に居る　とは限らないからだ。	

回答一覧表（Q 6．地図が見つらいと感じた理由）

③

●目標物の特定に関すること

番号	見つらいと感じた理由	備考
53	実際の生活道路等がわかりづらく感じました。普段見慣れているGogle Mapのようにスーパー、クリニック等の記載がなかったからかもしれません。	
54	なんだかごちゃごちゃしていて、見たいエリアを探すのに少し苦労した。	
55	目的の場所が探しにくい。字が細かすぎる。自分が住んでいる所の住所から避難場所を探したがハッキリと明記されてなく、たぶんココかな？としかわからなかった。車椅子でも避難所内を動けるか書かれていないのでマップが使いにくい。	「文字の大きさに関すること」の件数にも算入
56	住宅地図並みとは言わないが、ランドマーク的な建物や公園等を示してほしい。また、色使いも再考の余地あり。	「配色に関すること」の件数にも算入
57	地図のレイヤーが国土地理院のだと思うが、道路や建物や説明の文字が薄くて細かいので、目立つ道路や建物、公園がわかるようメリハリをつけて欲しい。	

●文字の大きさに関すること

番号	見つらいと感じた理由	備考
58	文字が小さい。色が見にくい。高齢者の目にはパステルカラーは見にくい。	「配色に関すること」の件数にも算入
59	地図の字が小さくて見つらい	
60	字が小さい　パッと見て自分ので住んでる地域何わかりにくい。わかりにくいから今この質問を受けても何が見たらかったのかも記憶にほぼ残らないマップだった	「目標物の特定に関すること」の件数にも算入
61	文字が小さい。図面も小さい。	「縮尺に関すること」の件数にも算入
62	文字が小さい	
63	文字が小さ過ぎるし、ごちゃごちゃしてる。目標物は大きく太字にするなどの配慮が欲しい。色の微妙な濃淡で判断しづらい。年配の人がパッと見てもわからないと思う。	「配色」に関すること」の件数にも算入

●区域分けに関すること

番号	見つらいと感じた理由	備考
64	自分の見たい地域を探すのに時間がかかる	
65	東光が何分割にもされていて見つらい。市内でも人口の多い地域なので東光単体で表示してほしい。永山民や末広民の恨み嫉みで、そうするのはやめてほしい。	
66	細かいのはいいが自分の地域を探してみたが自分の住んでるところを探すのが大変だったのと見方の色分けが住んでるところがどうかをみるがよくわからなかった	「配色に関すること」の件数にも算入
67	地域によって分割されているところ、それが裏表なところ	
68	地図が多数に分かれていて知りたい場所を探すのが大変だった	
69	アナログが好きなので紙で旭川全体的なものが見たい。色の使い方も本当に見つらい、携帯の画面ではとにかく見にくくて目が疲れる。色使いが悪いせいかよく分からない	「配色に関すること」の件数にも算入
70	自分の見たい地域を探すのに時間がかかる	
71	東光が何分割にもされていて見つらい。市内でも人口の多い地域なので東光単体で表示してほしい。永山民や末広民の恨み嫉みで、そうするのはやめてほしい。	

回答一覧表（Q 6．地図が見づらいつ感じた理由）

●区域分けに関すること

④

番号	見づらいつ感じた理由	備考
72	細かいのはいいが自分の地域を探してみたが自分の住んでるところを探すのが大変だったのを見方の色分けが住んでるところがどうかをみるがよくわからなかった	「配色に関すること」の件数にも算入
73	地域によって分割されているところ、それが裏表なところ	
74	地図が多数に分かれていて知りたい場所を探すのが大変だった	
75	アナログが好きなので紙で旭川全体的なものが見たい。色の使い方も本当に見づらいつ、携帯の画面ではとにかく見にくくて目が疲れる。色使いが悪いせいかよく分からない	「配色に関すること」の件数にも算入

●ホームページ版の画質に関すること

番号	見づらいつ感じた理由	備考
76	解像度が荒いし拡大すると見にくい	
77	PCで拝見しましたが、画質が粗いため、凡例の小さな文字が読み取れませんでした。また、浸水深の色分けについてあまり見分けがつかないように感じます。	「配色に関すること」の件数にも算入
78	印刷が鮮明でない	

●情報量に関すること

番号	見づらいつ感じた理由	備考
79	スッキリと簡単明瞭に、複雑さが感じられないような図にしてほしい。。	
80	詳細は覚えていないが、地図自体がごちゃごちゃとして見づらかった。自宅がどこにあるか、どこの河川が、どこの地域が危険なのか分からなかった。	
81	色々な情報がありすぎて分かりづらいつ。 信号の色 青→黄色→赤 など	

●その他

番号	見づらいつ感じた理由	備考
82	見た時に分かりづらさがあつた。	
83	一目でわかりづらいつ	
84	見たことは見ましたが、内容は一切覚えていません	

回答一覧表（Ｑ９．新しいハザードマップに対する期待・ご意見等）

●見やすさ・わかりやすさ

①

番号	期待すること・ご意見等	備考
1	大きい文字希望	
2	洪水時の河川護岸崩れの範囲や規模予測精度向上。ハザードマップに見やすく反映させる。	
3	わかりやすく、市民の皆様で共有できるものですね。	
4	現在のマップが政府の決めたものというのに驚いた。これを市のはんだんでかえられろのならばぜひ変えてほしい。 高齢者にとって判別しにくいマップは存在しないと同じです。水深の深くなるところは暗い赤にして浅くなるにつれ黄色、緑、青と変えて、さらに明度を上げていくと色覚異常のある方にもない方にも見やすいと思います。 市のサイトからマップをダウンロードしましたが、解像度が低くてかくだいで印刷しても自宅周辺が不鮮明です。解像度を上げてください。またはマップを小割りしてください。	
5	一目でわかる見やすさ フォントもわかりやすさの工夫を試みてください	
6	境界を見やすくしてほしい、紙面を大きくするとか	
7	文字間を少し広めにして、メリハリのある内容にしてほしいです。	
8	さまざまな考えや取り組みがあるとは思いますが、一部の地域だけが基本の「全国標準（国土交通省）」と異なると、配慮が混乱に変わります。たいへんだと思いますが、頑張ってください。	
9	ひと目でわかるような簡単明瞭にしてほしい。	
10	例えば、Googleマップのデフォルトの様なデザインであるとか、見やすいものにしてほしい。	
11	使い勝手が良いものを希望します	
12	青の方が、水害とわかりやすい。 青で、3のように、色をもう少し差をつけて見やすくしてほしい	
13	もう少し分かりやすい色合いにして欲しいです。見づらいです。	
14	見やすく、わかりやすく、記憶に残るマップにしてほしい	
15	誰が見ても見やすくわかりやすい	
16	出来るだけ文字を大きくして欲しい	
17	赤が見えにくい、青が見えにくい等あって難しいとは思いますが、色覚多様性の方にも見やすい物がいいと思います。	
18	知りたい地域の浸水水位の色分けを見えやすい様にがまず第一だと思います。日頃仕事の業務でも使用する事が多いため、解り難いので人に説明がしにくいので、見分けやすい配色にしてください。	
19	見やすさ、理解しやすさ 避難所の分かりやすさ	
20	誰でも見やすいといいですね	
21	配色は 全く違う色で分ける 自宅から近くのわかりやすい施設 建物などはっきりわかりやすくする	

回答一覧表（Ｑ９．新しいハザードマップに対する期待・ご意見等）

●見やすさ・わかりやすさ

②

番号	期待すること・ご意見等	備考
22	子供から高齢の方まで誰が見ても分かりやすい文字や文章、絵図であれば良いと思います。	
23	探したいエリアとその状況について見やすくして欲しい。	
24	誰もが見やすい。スマホなどが使えなくなることも想定して、紙（できれば防水）のハザードマップが各家庭に必ず配付されること。	「周知媒体・周知方法」の件数にも算入
25	一目見てわかるようなもの	
26	文字を大きくしてほしいです。	
27	教育現場でも使いやすいようなもの(子どもでも分かりやすいもの)になると、嬉しいです。災害発生時、家族と一緒にいるとは限らないので。	
28	見た時の分かりやすさと、子どもからお年寄りまでが理解しやすいものであると良いと思います。	
29	地図の色は、1番ではなかったですが、青系配色も水をイメージしやすくよかったです	
30	世の中は色覚障害の無い人が多いですが、配色については、障害のある方の意見を優先して欲しいです	
31	誰が見ても分かるのが良いので、説明や補足があるとなお良いと思います。	
32	地域ごとに見やすくして欲しい 大きい紙だと広げて場所を確認するだけでも大変である 各地域や町内で防災について学ぶべきではないでしょうか	「効果・活用」の件数にも算入
33	わかりやすい シンプルなものが良い。	
34	高齢者にわかりやすい文字の大きさにしてもらいたいです。	
35	住んでるところがどうなるのか分かりやすくしてほしい 広いので大変とは思いますが川の多い旭川なので安心して過ごすためにも自分の住んでるところがどうなるかわかると助かる	
36	シンプルで見やすいマップ	
37	目標物の文字を大きく太字にして欲しい。避難場所も一緒に表示して欲しい。用語をわかりやすくして欲しい。	
38	マップの詳細さよりも、見やすさを重視して、色と避難所を強調してほしいです。 子どもも高齢者も見やすいように。	
39	見やすく変更することは、いいと思いますが、全国的に同じような、配色にしなければ、転居、旅行中等、他の市町村で被災した場合、ハザードマップで混乱する可能性があります。	
40	今までのマップでは文字も小さく判別しにくいため、自宅周辺のリスクが確認しやすく、行動判断を早く取れるよう工夫して欲しい。	
41	色分けとともに網掛け等で、色以外でも識別可能なマップが良いと思います。	
42	とにかく分かりやすく 視力が落ちてきたり、老眼になったりした人にも大きな文字、見やすい色使いで作って欲しい。 早目に避難する人は年配の人も多いから。 あとは障害者にとって優しい案内等紙で配布するべき！	
43	分かりやすければ良いと思います	
44	見やすく、常に携帯できてその冊子を見れば持ち出すものや避難場所など、全てが分かる冊子にさせていただく事を期待しています。よろしくお願いします。	
45	避難場所にはわかりやすく光ライトなど目印などあればいいと思う	

回答一覧表（Ｑ９．新しいハザードマップに対する期待・ご意見等）

●見やすさ・わかりやすさ

③

番号	期待すること・ご意見等	備考
46	子供やお年寄りにもわかるものを。特に子供用にひらがなやふりがな多めのものもあるといいと思います	
47	確かに現在の浸水深の色区分は判別が難しく、新しいハザードマップを作成する際にも悩まれるものと思います。 しかし、国が現状の基準色とすると定めていることもあり、旭川市にどの程度の裁量があるのかがわからないためこの色区分がよいと強く推すことはできません。 現在の浸水深基準色区分の見えにくさも事前に防災ガイドマップやそのハザードマップをよく読み、防災知識や被災時の情報を頭に入れておくことで対応することができると思います。 ハザードマップは事前によく理解して、日ごろから防災に努めるためのものであるという使い方にもなっているかと思います。 そのため、事前への備えの部分やもし災害が起こってしまったらどうすべきかという情報が厚く掲載されていると嬉しく思います。 新しいハザードマップの作成は大変かと思いますが、災害に強い旭川のためにもよろしく願いいたします。	
48	子供などの知識があまり深くない人でも有事の際に安全に避難することができるようなマップとしてほしい。	
49	サンプルはどれも見づらい。Ｑ7に『見やすいと感じるものはない』と選択肢を追加して欲しい。	
50	色弱です。1～4まであったが、全ての色が見えたマップは1つもなかった。	
51	みんなに伝わるように	
52	・ハザードマップの薄い黄色が見づらいので、もう少し濃くしてもらえるとありがたいです。 ・障がい者への防災知識や、災害時や避難所で障がい者へ配慮すべきこと等について、障害種別ごと（視覚・聴覚・肢体不自由等）に記載してもらえるとありがたいです。	「盛り込む内容」の件数にも算入

●盛り込む内容について

番号	期待すること・ご意見等	備考
53	各々の住民が災害を想定して、避難行動を具体的に考えられるもの 例えば、川が溢れてから避難するのでは遅いので、河川の水位がどのあたりまで上がったら、氾濫、水害の危険を予想して準備をしたほうが良いーとか、車で避難する場合に適当な場所 など	
54	避難場所も同じくらい浸水被害などになるので、そういった時にどう対処したら良いのかなと思います。	
55	内水氾濫よりもこの河川のこの辺りの堤防が決壊したらここが浸水しますとか 最悪のパターンのものが知りたいです。 様々な想定ごとのマップがいいと思います。	
56	災害発生後の行政の具体的な対応、消防自衛隊との時系列に沿った詳細な連携体制を提示してほしい。	
57	どの状況でどのくらいのリスクなのかの追加解説があれば有難い。	
58	地図の裏面に、自宅近くの避難所、高齢者、障害者、ペットの避難対策、避難時の非常持ち出し品のチェックリスト、家庭での備蓄品のチェックリストなどを載せていただけるとありがたいです。	

回答一覧表（Ｑ９．新しいハザードマップに対する期待・ご意見等）

●盛り込む内容について

④

番号	期待すること・ご意見等	備考
59	わが家は介護中の両親がいて動きが悪く避難はまず無理です 何かしらの対応があれば知りたいです ハザードマップに対してではないのですが、新築時や改修時に屋根の水を道路の下水道に流しているのを(非浸透式で下水道に繋いでいる工事を)何件か見かけたことがあります このような施工が多ければ、昨今の豪雨、雨の降り方では早く下水道があふれ内水氾濫が起きやすいと思われます 浸透式の雨水枡を取り入れる、敷地内のアスファルト、コンクリート部分を減らして雨水が地下に浸透していくような施工を推進していったほしいと思います	「災害対策」の件数にも算入
60	ペット連れ可能な避難場所があるかどうか、避難場所にはどのようなルールで避難できるのか、ペットの種類や持ち物など最低限でも良いので知りたい	
61	引っ越してきた人にもわかりやすい避難経路や避難所情報があると助かります。	
62	洪水だけではなく、局地的な大雨が降った場合も浸水する可能性があるため、どれくらいの量の雨がどれくらいの時間降ったら、浸水の危険があるのかを示したほうがいい	
63	川の街なので、いつ水害が発生してもおかしくない。 土嚢をはじめとする、防災資機材のありかや、避難出来る高層建物の明記が必要と感じます。 マップ自体の整備も必要だが、案内看板をもっと拡充すべきと考えます。 沿岸のように、川からの標高などの看板表記があると良いかも知れません。 また、現在地から、避難建物までの距離が分かると、避難にかかる時間も分かるので、ハンデのある方が自力で移動するのが困難だと周囲の人々が判断する材料になり、避難補助支援をする意識も上がるのではと考えます。	
64	避難所で障害児 障害者の 受け入れ体制の有無	
65	8の質問内容は全てあっていいと思う。もしもに備えて火災保険の案内もあったらいいとおもった。	
66	災害に備えておかなければいけない事を具体的に教えてほしい。旭川はあまり災害がないので、市民は災害に対する意識が低いと思う。過去に実際に災害が起きた時の記載があると良いと思う（時期やどんな対応をしたか等）。	
67	災害発生時の市の対応や備蓄状況、周辺地域との連携についても教えてください。 旭川は災害が少ない地域なので、対策がおろそかなのではないかと不安に思います。	
68	備蓄状況、ペット、テントなど様々な避難所の問題に旭川はどの程度、準備対応されているのか。ライフラインなど旭川はどのような対応ができるのか。全くわからない。 ハザードマップとは別にしても全ての災害時の詳しい対策(実際に市としてどの程度対応できるか)をわかりやすくまとめた冊子があるとよい。	
69	水害となった場合、避難して良い高い建物がどれだけあるのか。普段から屋上を開放している建物があるのか。どれだけの人数が屋上に避難できるのか。屋上に避難した場合、どのくらいの時間で救助が来るのかの目安。渋滞にならない交通整理（高砂や春日台へ行くための道路が数箇所あるのなら地域によって使える道路を分散する等）が可能なのか。 避難しようと行動しても住んでいる方しか屋上に上がりません、渋滞で避難できません、猛暑時に屋上で何時間も救助を待たなくてはなりません、だと命が守れない。	

回答一覧表（Ｑ９．新しいハザードマップに対する期待・ご意見等）

●盛り込む内容について

⑤

番号	期待すること・ご意見等	備考
70	避難を呼び掛ける自治体からの連絡がどのように来るのか、いつ避難すれば良いのか（避難しなかった場合のリスク、対策）を分かりやすく説明して欲しいです。	
71	もしもの時に、全ての人の命が守られる様に避難する時に迷わないように避難するタイミングと持ち物を知れるように	
72	すぐ近くに市の施設があるのに避難所が30分以上歩いていかなければならない学校になっている。市の施設も避難所にしてハザードマップに示してほしい。また、車で避難する場合の駐車場対応が不明。車でなければ移動できない市民も多いので、マップ上で明確にしてほしい。	「災害対策」の件数にも算入
73	かわのまちだから仕方ない部分はあるが避難所のほとんどが浸水する地域なんじゃないですか？ 各避難施設の浸水対策がどのようにされているかマップにもその地域以外の市民にもわかるようにするべき。	
74	色付けがどうか以前に 災害を想定したときにどう行動をどう取れるかなのでマップより安全場所がわかるようにならないと意味がないと思います その場所にどうやっていけるか？	
75	自分の住んで居る場所が危険かどうかをしっかりと把握して、即避難行動が出来る様にして欲しいです。旭川は災害が殆ど無いので危機感が全く身に付いてない私。前の停電の時に懐中電灯を買いました。	
76	自身の避難場所 避難持続可能日数	
77	避難所にどのような備蓄品があるのか（または配布予定か）が事前にわかると、非常持出品の内容の目安になるのではないかと思います。	
78	突発的なゲリラ雷雨で、特定地域が冠水する事例も出てきているので、そうした情報も盛り込んでほしい	
79	旭川市ではあまり地震の発生は少ないが、大きな地震が発生した場合の避難経路や詳細が記載されると良いなと感じます。 また、旭岳、十勝岳の噴火による災害を想定した詳細も記載されるとより防災への意識が向上するのではないかと考えます。 数十年、数百年に一度の災害かもしれませんし、自分自身が生きている間に起こらない可能性はありますが、後世へ受け継ぐという意味も込めて、他人ごとではなく、普段安全であるからこそ常に災害、防災に対する意識を持つためのハザードマップであれば良いと思います。	「効果・活用」の件数にも算入
80	避難所が浸水危険区域の記載が多い。浸水時や土砂災害場合等、状況によって避難所が異なる場合はわかりやすく明記してあると安全では？ 車で避難する場合、駐車場情報も欲しい。	
81	市内にお年寄りが増えているので、どう避難すればよいか等の指南が欲しい	
82	内水ハザードマップ 地震液状化マップ	
83	旭川は災害による大規模な被害があまりない地域なので、全体的に防災意識や災害時の準備の実施などの意識が低いと思う。なのでどういうリスクがあつて、どれくらい家に帰れないのか通常の生活に戻れないのかなど具体的な被害例を示すといいと思う。あと、緊急時用のトイレマップなどもあるとよい。避難場所のトイレとかはすぐに使えなくなるらしいので。	
84	市民避難マニュアルの要素を取り入れ、災害対策に関する基礎的な知識が一冊で分かる便利なハザードマップとなることを期待してます。	
85	避難所の浸水対策状況	
86	過去の水深被害の聞き取りが必要だと思う。	
87	時間雨量と累計雨量（時間経過）により想定される河川氾濫と浸水地域Mapの掲載	

回答一覧表（Ｑ９．新しいハザードマップに対する期待・ご意見等）

●盛り込む内容について

⑥

番号	期待すること・ご意見等	備考
88	避難経路があると分かりやすいと思う	
89	備蓄品チェックリストがついていれば点検などしやすいのかなと思います。（食品の消費期限とかかけるところもあれば尚） 本州の人間と道民とでは災害に対する考えが甘さ加減が違うので繰り返しイベントなどで配布、周知の徹底はしたほうがいいと思います。	「効果・活用」の件数にも算入
90	避難する為、いつ避難所が解説され避難できるのかを、どのように市民に伝えられるのかが全く分からない。	
91	避難所の障がい者受け入れ態勢がどれくらいあるかの記載。トイレの整備やスロープが本当に使えるか昇降機があるか記載があると助かる。 避難所とその避難所が使える対象地域をエリアごとに色分けするなど、調べる時にすぐわかるようになると見やすいと思う。 応急処置の記載。	

●周知媒体・周知方法について

番号	期待すること・ご意見等	備考
92	旭川市の公式LINEから見れるようにしてほしい。	
93	携帯にも保存できれば、工作中に何かあった場合に確認できて対応しやすいと思う。	
94	全世帯に配布してほしい	
95	スマートフォンで頻繁に確認できる機会が増えると意識も高まるかと思います。	
96	紙で全戸に配布して下さい スマホやPCは電気が無いと、物と化すのでイザというは紙！です それも濡れても破け難いものに	
97	多くの市民にハザードマップの存在を知ってもらう為には広報誌、スマホ等で広めてほしい 自分の住んでいる場所の危険度がどの程度なのか知る事は大事なので	
98	1回見たらしまってしまうことがあるので、広報で毎回でも何回か置きでも載せてくれると目について良いのではないのでしょうか	
99	あさひばしと一緒に年1回配布希望。	
100	災害時はネットなど繋がらない事が予想されるので、サイト以外にもやはり紙媒体で配布して欲しい。 避難所一覧も記載して欲しい。 さらに、ペット同伴可の避難所を分かりやすく記載して欲しい。 救援物資の受け取り方法なども記載があるとありがたい。	「盛り込む内容」の件数にも算入
101	今の旭川市のwebサイトは災害やヒグマの情報が少し見づらいのが気になります。緊急時でもすぐ見つけられるよう、もう少し目立つようにしてほしいです。	
102	どうすれば、市民の大半が目に見えるようになるか、工夫して欲しい 例えば、町内会〆利用するとか、市役所、区役所に掲示するとか。	
103	紙でもデータでも見られるようにしてほしいです。	
104	紙にってしまうと、しまい込んでしまうので、いつでも見れるようにネットで見やすくしてほしい	
105	市内中心部だけでなく市内では建物や空き地・駐車場などの変化に合わせた地図が必要だと思います。なかなか難しいですが、道路や橋など新しくなった場合は特に更新していただきたいと思います。	

回答一覧表（Ｑ９．新しいハザードマップに対する期待・ご意見等）

●周知媒体・周知方法について

番号	期待すること・ご意見等	備考
106	紙のマップだけでなく、地理院のようなGISソフトウェアを活用したマップ公開をしたほうが良い。不動産情報にA４で添付出来るような印刷機能を追加してほしい。	
107	どこを見たらいいか、市のサイトに大きめのバナー案内	
108	もっと公共施設の待ち時間や訪問時に見えるようになっていたら関心につながるかと思います。	
109	定期的に全世帯に配ってほしい。 町内会に入っていないと配られないなど、無くしてほしい。	
110	エリアごとにダウンロードできれば、災害時の停電や電波消失にも対応可能ではないか？	
111	インターネット上で見れるGISマップがあれば便利	
112	マップアプリのレイヤーとして連動したものと良い。	
113	QRコードなどを使用して、自分の家の浸水や土砂の動画が見たい。	
114	電子化は良いことだと思いますが、予算がかかっても全市民に紙でのハザードマップを配布することにより停電等で電力がない時も活用できて良いと思います。	
115	浸水区分のshapeデータも提供して欲しい。	
116	転入される方（家族）に確実にお渡しできればいいと思います。	
117	Googleマップと連動して欲しいです。どうせ捨てるので紙は要らないです。	
118	紙でなくネットで容易に現在地から避難所へのルート案内が絶対必要です。	

●作成後の効果・活用について

番号	期待すること・ご意見等	備考
119	新しいハザードマップを作成するのは良いことだと思いますが、それを確実に周知するとともに、避難訓練を実施しなければなりません。 「仏作って魂入れず」にならないようにして下さい。	
120	旭川は災害が少ない事が喜ばしい事と同時に災害が起きたときにどう行動するかがあまり明確では無いように思います。 ハザードマップを目にする機会が無いので全世帯に配布し議論する為に何が必要か。旭川も災害が起こる可能性を市民に周知する為のシステムや周知の徹底を本気で考えてほしい。 災害が起きてからでは取り返しがつかないよ。 もう少し旭川市の本気をみたい。	
121	最新のデータが反映され、有事の際に死傷者が出ないようにすること。民間企業に対して避難訓練などを誘発する内容であること。	
122	安全な町であるため、備えの意識が低いと感じている。そのためメディアで見ている災害をイメージしており、居住地域の本来想定されるリスクやそのための備えをされている人は少ない。ぜひ、市民が防災をジブンゴトにできるような冊子を期待しています。	
123	旭川は川の多い街ですが、災害の少ない街なので新しいハザードマップが出来上がった時には、町内会や地域単位で今以上に災害に関する催しをすると一人一人の意識が高まるような気がします。色々お金のかかる事と思いますが、災害に対する意識は少しでも高まるような気がします。	
124	日本中で、災害が起きており、旭川が災害が少ないことで、自分事として、意識するのは難しいかもしれません。ハザードマップが良いきっかけになるような、有意義なものが作成され、市民に伝わるような活動がされると良いなと考えます。	

回答一覧表（Ｑ９．新しいハザードマップに対する期待・ご意見等）

●作成後の効果・活用について

⑧

番号	期待すること・ご意見等	備考
125	河川の氾濫による水害が一番の心配です。 避難所に行っても収容限度を超える人がいたら、自分で避難場所を探すしかないと思っているのですが、旭川は盆地で、近くの避難に適した高台などはなかなか見当がつきません。 旭川は地震も少なく、海もないので自然災害の少ない区域という認識が強いのですが、最近の温暖化による気象の変化を考えると、線状降水帯の発生による大雨の被害や、周辺の活火山の噴火等、今起こっている他の地域の災害は他人事ではないと思っています。市民一人一人が真剣に取り組む必要があると考えます。旭川市のハザードマップの改訂にはとても関心があります。より多くの市民へ災害に対する備えへの更なる啓蒙は必要ですよ。ね。 「旭川は決して安心?安全な場所ではない」事を、広く伝える事が大切だと思います。	
126	自分の命は自分が守るという自覚が不足している。日頃から何事も人に頼り、言われないと自分から動かないから仕方ない。市職員も仕事だからするが地域では何も関心ない。市のホームページにUPしておけば十分。何かあったら、AIが誘導してくれるから心配無い。不要なコストは掛けないで日頃から逃げる準備だけしておけば良い。	

●洪水ハザードマップ以外の災害対策について

番号	期待すること・ご意見等	備考
127	車椅子で避難する場合、近くの避難所まで上り坂があったり、出入り口が狭かったりと不安があります。	
128	避難所が、適切なのか心配です。	
129	浸水する場所に避難所を設定しないでほしい。	
130	ペットとの同行避難所で、屋内でも一緒に避難出来る場所を作って欲しい	
131	水害時は高所への避難が有効だが、足腰を痛めている高齢者がいるとそれも難しい。 さらに、水害に限らず避難時の移動手段がなく、公共交通も頼れない状況だと避難が難しい。 避難用のバス&バス停など、交通弱者がいざという時に乗れるものがあると助かる。	
132	障害者施設で働いています。 人手不足もあり、災害情報を収集する時間もあまり多くとれないのですが、確実に市民に情報が届くようにしてほしい。 一つアクセスすると欲しい情報がすべて見れるようにならないか。	
133	ペット同伴で避難出来る場所を各地区に増やしそれを分かるように記して欲しいです。また高齢者も寝たきりや認知症等によっては避難所としては難しい所があると思いますのでその点もお願いしたいです。	
134	河のまちなのに、高い建物が中心部にしか無く、それ以外では、そこそこの高さの建物がほんの少し…車が生活の一部の市民は、車で逃げて、車と一緒に待機が当たり前。なのに、それが出来るところはあるだろうか？ 殆どは、車が、だめになるだろうが、人はどうにか助かるだろうの体。沢山の人が、車共々助かるような広く高い場所の避難場所の確保と周知をお願いしたい！ 洪水になってしまったら、家という高額なモノを失う可能性が高いのに、その次くらいに高額な車まで失う事になるのは、市民の生活があってはじめて成り立っているのが市なのだから、その後の市が被るリスク等も考えると、是非真剣に考えてもらいたい！	

回答一覧表（Ｑ９．新しいハザードマップに対する期待・ご意見等）

●洪水ハザードマップ以外の災害対策について

⑨

番号	期待すること・ご意見等	備考
135	非難場所がほとんど小中高と学校であるが、河川が氾濫した場合、水害に遭いそうな学校が多くあります。 例えば、旭川北高・大町小学校・旭川西高は石狩川が氾濫したら避難場所になりえるのでしょうか？？ MAPはMAPとして、河川の川底を掘るとか災害（水害）を未然に防ぐ工事を施工すべきではないのでしょうか（と言っても、国が考えてやらなければだけど・・・石破だしな～）。 昔から比べたら、堤防は低くなっていて、川底も何十年も掘っていないと思います。 （50年前ぐらいに、金星橋の自動車学校あたりで堤防の6割ぐらいまで水が来て本当に危機感を感じました。それから、川幅を広げ川底を削りました）。 最近は、環境の変化で全国的に河川の氾濫も多くなっています。 防災センター・MAPもいいですが、河川の安全維持管理が出来ているのかが非常に不安です（開発の見解を聞きたいぐらいです）。 以上	

●冊子の構成について

番号	期待すること・ご意見等	備考
136	あまり多くの情報を詰め込まずに、浸水想定区域を主眼としたハザードマップの原点を追求してほしい。	
137	折りたたんでいる所（地図）と冊子になっている（非常持ち出しや備蓄品について）ものがくっついているものはどうでしょうか。	
138	・札幌市や神戸市、寝屋川市のような「防災ガイド」と「ハザードマップ（地図）」を別々に作成してはどうか。 避難箇所が変更になったりした場合すべて作り直しになるより良いのではないか？ ・避難箇所の無い地図も欲しい。 ・探しに行かないとハザードマップにたどりつかないのは手間です。ワンアクションで見られるようにしてください。	「周知媒体・周知方法」の件数にも算入

●作成時期について

番号	期待すること・ご意見等	備考
139	早目にお願いします	
140	前回からなかなか新しくならないなと思っていたので早く新しいMAPが手元に届くのを待っています。	
141	早めに発行配布、紙早めに出来ないなら電子情報でお願いします。高齢者や障害者など災害弱者情報をよろしくお願いします	「周知媒体・周知方法」・「盛り込む内容」の件数にも算入

●その他

番号	期待すること・ご意見等	備考
142	必要最小限で、あったら良いな、は要らない。	
143	家の見える所に飾れるような防水加工のもの	
144	机の上ではなく、現場に立ってほしい。	
145	自宅付近だけでなく時々マンションの宣伝を見たらその付近をハザードマップで確認してみたりしています。 旭川市は何本もの河川が合流するのでとても関心があります。	
146	情報に誤りが無いように製作して下さい	